科目名	コーチング演習4							年度	2025
英語科目名	Coaching practice 4							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース　2年次	必／選	選	時間数	90	単位数	6	種別※	演習
担当教員	鷲田、柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本テニス協会公認S級エリートコーチ/日本スポーツ協会公認テニスコーチ４		

【科目の目的】

日本スポーツ協会公認テニスコーチ1・2/テニス教師の取得に向けて、フィード・ヒッティング・レッスン運営(時間配分・安全管理)が試験合格レベルで実践できることを目標とします

【科目の概要】

フィード・ヒッティング・レッスン運営(時間配分・安全管理)が試験合格レベルで実践できることを目標とします。また、マルチタスクがこなせる視野の広いテニスコーチを目指します。

【到達目標】

A 練習方法やワンポイントアドバイスを端的に分かりやすく説明することができる
B すべてのショットにおいて視覚的に分かりやすいデモンストレーションをすることができる
C 安全管理に留意しながらゲームベースの8分間レッスンをすることができる

【授業の注意点】

理由のない遅刻や欠席は認めません。授業回数の４分の３の出席がなければ単位取得できません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	練習方法やワンポイントアドバイスを端的に分かりやすく説明することができる		練習方法やワンポイントアドバイスをある程度分かりやすく説明することができる		練習方法やワンポイントアドバイスを端的に分かりやすく説明することができない
到達目標 B	すべてのショットにおいて視覚的に分かりやすいデモンストレーションをすることができる		すべてのショットにおいて視覚的にある程度分かりやすいデモンストレーションをすることができる		すべてのショットにおいて視覚的に分かりやすいデモンストレーションをすることができない
到達目標 C	安全管理に留意しながらゲームベースの8分間レッスンをすることができる		安全管理に留意しながらゲームベースの8分間レッスンをある程度することができる		安全管理に留意しながらゲームベースの8分間レッスンをすることができない

【教科書】

テニス指導教本1・2

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	コーチング演習4	年度	2025
英語表記	Coaching practice 4	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	説明①	レッスンテーマやワンポイントアドバイスが説明できる	1	ポイントの確認	レッスンのポイントを理解することができる	2	
			2	説明	レッスンテーマ・ワンポイントアドバイスを説明することができる		
			3	デモンストレーション	デモンストレーションがスムーズにできる		
2	説明②	レッスンテーマやワンポイントアドバイスがスムーズに説明できる	1	話し方・声のトーン	レッスンテーマ・ワンポイントアドバイスを分かりやすく説明することができる	2	
			2	表現方法	レッスンテーマ・ワンポイントアドバイスを端的に分かりやすく説明することができる		
			3	説明・デモンストレーション	説明通りのデモンストレーショができる		
3	デモンストレーション①	デモンストレーションができる	1	ポイントの確認	デモンストレーションのポイントを理解することができる	2	
			2	デモンストレーション	デモンストレーションがスムーズにできる		
			3	説明・デモンストレーション	レッスンテーマ・ワンポイントアドバイスのデモンストレーションができる		
4	デモンストレーション②	デモンストレーションが説明通りにできる	1	デモンストレーション	ミスなくデモンストレーションができる	2	
			2	手本となるデモンストレーション	説明通りのデモンストレーショができる		
			3	まとめ	各メニューごとに一連の流れができる		
5	模擬レッスン①	8分間レッスンに慣れる	1	ポイントの確認	8分間レッスンのポイントを理解することができる	2	
			2	説明	レッスンテーマ・ワンポイントアドバイスを説明することができる		
			3	デモンストレーション	デモンストレーションがスムーズにできる		
6	模擬レッスン②	8分間レッスンを時間内に終了できる	1	時間配分	各メニューを設定した時間内に終わらせることができる	2	
			2	説明・デモンストレーション	説明・デモンストレーションがスムーズにできる		
			3	フィード	フィードを正確にコントロールすることができる		
7	模擬レッスン③	8分間レッスンでデモンストレーションができる	1	説明・デモンストレーション	分かりやすい説明・デモンストレーションができる	2	
			2	フィード・ヒッティング	フィードやヒッティングを正確にコントロールすることができる		
			3	安全管理	レッスン中でも広い視野で安全管理ができる		
8	模擬レッスン④	8分間レッスンでアドバイスができる	1	説明・デモンストレーション	分かりやすい説明・デモンストレーションができる	2	
			2	フィード	フィード中にアドバイスを送ることができる		
			3	ヒッティング	ヒッティング中にアドバイスを送ることができる		
9	模擬レッスン⑤	8分間レッスンを成功させる	1	説明・デモンストレーション	分かりやすい説明とその通りのデモンストレーションができる	2	
			2	フィード・ヒッティング	正確にコントロールしながら説明通りの流れを表現できる		
			3	安全管理	レッスン中でも広い視野で安全管理ができる		
10	テスト対策①	ストロークのデモンストレーションがスムーズにできる	1	ストロークのデモンストレーション	ストロークのデモンストレーションがスムーズにできる	2	
11	テスト対策②	ネットプレーのデモンストレーションがスムーズにできる	1	ネットプレーのデモンストレーション	ネットプレーのデモンストレーションがスムーズにできる	2	
12	テスト対策③	サーブのデモンストレーションがスムーズにできる	1	サーブのデモンストレーション	サーブのデモンストレーションがスムーズにできる	2	
13	テスト対策④	8分間レッスンがスムーズにできる	1	8分間レッスン	8分間レッスンがスムーズにできる	2	
14	テスト対策⑤	模擬テスト実施	1	模擬テスト	模擬テストで本試験への理解度が深まる	1	
15	テスト対策⑥	模擬テスト実施	1	模擬テスト	模擬テストで本試験への理解度が深まる	2	

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等